

平成15年度

県立高等技術専門校
評価システム

外部評価結果

浜高等技術専門校

目 次

1	外部評価結果（総括）	1
2	普通課程		
	(1) 電子制御科	2
	(2) 自動車整備科	5
	(3) アパレルシステム科	8
	(4) 建築技術科	11
3	在職者訓練	14
4	離転職者訓練	16
5	運営	18

外部評価結果（総括）

浜高等技術専門校評価委員会

はじめに

- ・第7次福島県職業能力開発計画（平成13年～17年度）に基づき高等技術専門校評価システムが平成15年度に確立されたところである。これにより、本校の現状について評価項目に基づき総点検したところである。
- ・今後、浜通り地域における産業構造の変化や企業ニーズに適時的確に対応していくため、この結果をPDCAサイクル、すなわち計画、実施、評価、改善のサイクルに基づき出来るものから最大限改善を図っていくものである。
- ・以下、浜高等技術専門校の現状について点検（評価）した結果を整理すると下記のようになる。

1 普通課程

- ・普通課程における訓練目標としては概ね評価できるが、さらに地域・産業ニーズの導入を図るべきと考える。
- ・訓練内容においては、本校学生が企業で柔軟に対応できるための指導内容を検討する必要がある。
特に予防整備や営業的センスを持たせるための指導等検討すべきと考える。
- ・募集方法については、定員割れを起こしているアパレルシステム科の内容について、さらに浸透を図っていくべきと考える。
- ・就職状況については、厳しい雇用情勢にもかかわらず毎年全員就職を達成しており、大変評価できるものである。
- ・技能照査については、最終技能の修得の尺度として全員が合格しており評価できる。
- ・資格取得については、個人ごとの進路に合わせた取得等、よりきめ細かな指導が望まれる。

2 在職者訓練

- ・訓練目標及び訓練内容については概ね評価できるが、地域・産業ニーズに対応したきめ細かい目標設定が必要であると考ええる。

3 離転職者訓練

- ・訓練目標及び訓練内容については概ね評価できるが、地域・産業ニーズに対応したきめ細かい目標設定が必要であると考ええる。

4 運 営

< 地域における技術専門校（浜校）のあり方について >

- ・今後の産業構造の変化に対応した普通課程の科目のあり方、離転職者訓練への就職支援、企業の技術革新に対するセミナー等の支援体制についてどうあるべきか、組織の見直しも含めて中長期的な展望が望まれる。
- ・特に組織機能の充実すべきものとして、キャリアカウンセリングの充実強化を図ることや離転職者、一般就職希望者への能力開発支援を強化して雇用のミスマッチを解消することがますます重要となる。そのためにも、能力開発課における地域に開かれた職業訓練や情報提供等の総合相談窓口機能を持たせるため組織機能の充実を目指すことが必要である。

< 機能・役割分担について >

- ・雇用・能力開発機構の職業能力開発促進センターは、在職者や離転職者を対象とした訓練を行い、一方本校においては新規高校卒業者を対象とした訓練と離転職者訓練及び在職者訓練を実施しているが今後の社会経済動向の推移を見ながら、その役割分担の見直しも必要である。

< 指導体制について >

- ・指導体制については、国（旧労働省）通達に基づき、よりきめ細かな指導ができるよう配慮すべきであると考ええる。

< 浜校機能の高度化について >

- ・中長期的な展望のうえに、地域・産業ニーズの動向を踏まえて浜校の組織及び機能について強化し、業務内容の高度化を図っていくべきであると考ええる。

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	A	B	C
		【課題】				
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	A	(B)	C
	【課題】 原発関連を中心にこだわらず、製造業等地域産業構造全般のニーズに対応する訓練目標設定が必要である。専門性にこだわることなく、幅広い関連知識を取り入れた教科指導内容が必要である。 コンピュータを利用する幅広い技術教育を更に充実すべきである。 どこの企業でも必要とされる基本スキルを充実すべきである。					
	目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	(A)	B	C	
	【課題】 ・評価できる。					
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】 生産に関する基本的な考え方を更に充実して指導することが必要である。 社会人としてのマナーを習慣づけることが必要である。				
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	B	C
		【課題】				
実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。		—	A	B	C	
【課題】						
生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	—	A	B	C		
【課題】						

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】 目標を持たせるためにも必要である。		

総 合 評 価 (普通課程)

外 部 評 価		
A : 評価できる	(B) : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】		
1 訓練目標 ・ ほぼ地域ニーズを勘案した設定になっているが、製造業へ対応できる目標に一部改善が必要である。 2 訓練内容 ・ 企業で柔軟に対応できるための素地を更に指導することが必要である、 3 入学方法 ・ 特に問題なく実施されている。 4 就職状況 ・ 特に問題ない状況である。 5 技能照査 ・ 特に問題ない状況である。 6 資格取得 ・ 目標を持たせるためにも、資格取得を行うことが必要である。		

評 価 項 目				外 部 評 価			
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C	
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	A	B	C	
		【課題】					
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	A	(B)	C	
	【課題】						
		目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	(A)	B	C	
	【課題】						
		(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	(B)	C
	【課題】						
			学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	B	C
	【課題】						
		実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	B	C	
	【課題】						
	生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	—	A	B	C		
【課題】							

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	(A)	B	C
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】 ・評価できる。		

総 合 評 価 (普通課程)

外 部 評 価		
A : 評価できる	(B) : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】		
(普通課程訓練目標)	産業ニーズの見直しが一部必要であるが、現状の目標に対しては概ね達成している。	
(普通課程訓練内容)	電気の基礎学習を充実させる必要がある。また、年次に合わせた授業展開の必要もある。 故障修理ではなく予防整備の認識の付与、及び営業的センスを学習する教科内容の検討が必要である。 コンピュータ学習については現状でよい。	
(入学方法)	応募者が入学定員を上回っており、問題はない。	
(就職状況)	卒業生全員が就職しており良好である。また、定着状況も良い。	
(技能照査)	合格率が概ね100%であり、良好である。	
(資格取得)	二級自動車整備士の取得率が100%であり、良好である。	

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	A	B	C
		【課題】				
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	A	(B)	C
	【課題】					
	目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	(A)	B	C	
	【課題】					
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】				
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	B	C
		【課題】				
実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。		—	A	B	C	
【課題】						
生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	—	A	B	C		
【課題】						

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】 ・取得資格の設定については問題ないが、資格によっては合格率が全国平均を下回るものもあるので改善を要する。		

総 合 評 価 (普通課程)

外 部 評 価		
A : 評価できる	(B) : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】 普通課程訓練目標 ・ 目標達成については評価できるが、ニーズ導入については製造業中心の訓練を実施しているため一部改善を要する。 普通課程訓練内容 ・ 製造業中心の訓練内容で2年間全科目必修カリキュラムであるため一部改善を要する。 入学方法 ・ ・ ・ ・ ・ 募集方法、募集活動内容に問題はないと思われるが、科の内容の浸透度が低い、等応募倍率に反映されていないため改善を要する。 就職状況 ・ ・ ・ ・ ・ 就職状況については評価できるが、定着状況については一部改善を要する。 技能照査 ・ ・ ・ ・ ・ 評価できる。 資格取得 ・ ・ ・ ・ ・ 取得資格の設定については評価できるが、合格率の向上を図るため一部改善を要する。		

(様式1)

高等技術専門校評価システム 評価表

[浜 校 / 建築技術 科]

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
1 普 通 課 程	(1)普通課程訓練目標 多様な技能及びこれに関する知識を有する人材を育成し、地域・産業の発展に寄与するため、普通課程における職業訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し、訓練科ごとに設定され、かつ、実現に向け努力されていること。	目標設定 普通課程訓練目標が、訓練科ごとに設定され、適切であること。	—	A	B	C
		【課題】				
		ニーズ導入 普通課程訓練目標が、地域・産業ニーズを勘案し設定されていること。	—	A	(B)	C
	【課題】	・地域ニーズを考慮したカリキュラムの設定が必要である。				
	目標達成 普通課程訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	(A)	B	C	
	【課題】	・評価できる。				
	(2)普通課程訓練内容 各訓練科の職業訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための職業訓練内容が、地域・産業ニーズを勘案し設定され、実施されていること。	教科指導計画書 各訓練科ごとに、ニーズ教科(学科・実技)が地域・産業ニーズを勘案し設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	(B)	C
		【課題】	・学生の就職先に対応できるようなカリキュラムであること。			
		学科実施状況 学科指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	B	C
		【課題】				
実技実施状況 実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。		—	A	B	C	
【課題】						
生活指導 生活指導に係る内容が適切であること。	—	A	B	C		
【課題】						

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
1 普 通 課 程	(3)普通課程訓練環境 各訓練科の職業訓練目標の達成及び職業訓練内容の充実のため、必要な施設・設備の整備がなされていること。	施設整備 職業訓練に必要な施設が計画的に整備・改善され、活用されていること。	――	A	B	C
		設備整備 職業訓練に必要な設備が計画的に整備・改善され、活用されていること。	――	A	B	C
	(4)入学方法 入校希望者をその適性にあった訓練科に受け入れることにより、訓練効果の向上が図られる選抜方法が採られていること。	応募状況 入校希望者への募集方法・内容等が適切であり、応募者が定員を上回っていること。	応募倍率 1.0以上	(A)	B	C
		入学試験 入校希望者（推薦・一般）の能力及び適性・意欲等が適切に把握できる選抜方法が採られていること。	――	A	B	C
	(5)就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と密接な連携を図り、学生に対し、雇用情勢の情報収集や相談、指導等の就職支援がなされていること。	就職状況 雇用情勢の情報収集や相談、指導等の支援により、就職率が100%であること。	就職率 100%	(A)	B	C
		定着状況 卒業後3年経過後の定着率が概ね100%であること。	定着率 概ね 100%	(A)	B	C
(6)技能照査 各訓練科の普通課程において、高等技術専門学校が必要と認める技能・知識が修得されていること。	技能照査状況 高等技術専門学校が必要と認める技能・知識の修得度が高く、合格率が概ね100%であること。	合格率 概ね 100%	(A)	B	C	

【課題】

【課題】

【課題】
・評価できる。

【課題】

【課題】
・評価できる。【課題】
・評価できる。【課題】
・評価できる。

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	(B)	C
1 普 通 課 程	(7)資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	資格取得 各訓練科の普通課程において、資格取得目標が掲げられ、資格が取得されていること。	—	【課題】 ・学生に対し、適切な資格取得目標を設定しているのか検討を要する。		

総 合 評 価 (普通課程)

外 部 評 価		
A : 評価できる	(B) : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】		
普通課程訓練目標 : 地域の産業構造が土木5割、建築5割という構造を考慮したカリキュラムの編成が必要である。		
普通課程訓練内容 : 地域ニーズを反映出来るよう、さらに選択実習の充実を図る必要がある。		
資格取得 : 資格取得の目標(個人が取得・全員が取得・新たな資格取得)については、就職先を踏まえた検討が必要である。		

評 価 項 目				外 部 評 価			
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C	
2 在 職 者 訓 練	(8)在職者訓練目標 キャリアアップ等を図るための在職者訓練目標が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	目標設定 目標が、在職者訓練コースごとに設定され、適切であること。	――	A	B	C	
		【課題】					
		ニーズ導入 在職者訓練コースが、地域・産業ニーズを助案し設定されていること。	――	A	(B)	C	
	【課題】						
		目標達成 在職者訓練目標の実現に向け、努力されていること。	――	A	(B)	C	
	【課題】						
		(9)募集方法 地域企業等在職者に訓練コースの内容が周知されていること。	募集方法 地域企業等在職者に訓練コースの内容が周知されていること。	――	A	B	C
	【課題】						
		(10)在職者訓練内容 在職者訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための在職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定されていること。	在職者訓練計画 在職者訓練が、地域・産業ニーズを踏まえ設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	――	A	(B)	C
【課題】							
		在職者訓練実施状況 学科・実技指導に係る内容が計画どおり実施されていること。	――	A	B	C	
【課題】							
	(11)在職者訓練環境 在職者訓練の目標の達成及び内容の充実のため、必要な施設・設備整備がなされていること。	施設整備 在職者訓練のために必要な施設が計画的に整備され、改善されていること。	――	A	B	C	
【課題】							

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
2 在 職 者 訓 練	(11) " 在職者訓練の目標の達成及び内容の充実のため、必要な施設・設備整備がなされていること。	設備整備 在職者訓練のために必要な設備が計画的に整備され、改善されていること。	――	【課題】		

総 合 評 価 （在職者訓練）

外 部 評 価		
A : 評価できる	(B): おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】		
<p>「目標設定について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ導入 コース内容、レベル、実施時期、実施期間、実施時間帯、機材等を調査する必要があり、さらに高度な訓練ニーズに対応するには施設、設備等の整備計画についても検討すべきである。 ・目標達成 受講者のスキルアップが目標としてあるが、資格取得率の向上のため訓練時間、指導方法、教材についても検討すべきである。 <p>「在職者訓練内容について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・産業のニーズの変化に対応し、在職者に必要な訓練内容に見直す必要がある。 		

評 価 項 目				外 部 評 価			
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C	
3 離 転 職 者 訓 練	(12) 離転職者訓練目標 キャリアアップ等を図り、再就職を支援するための離転職者訓練目標が、 地域・産業ニーズ を踏まえ設定されていること。	目標設定 目標が、離転職者訓練コースごとに設定され、適切であること。	—	A	B	C	
		【課題】					
		ニーズ導入 離転職者訓練コースが、 地域・産業ニーズ を勘案し設定されていること。	—	A	(B)	C	
	【課題】						
		目標達成 離転職者訓練目標の実現に向け、努力されていること。	—	A	(B)	C	
	【課題】						
		(13) 募集方法 離転職者に訓練コースの内容が周知されていること。	募集方法 離転職者に訓練コースの内容が周知されていること。	—	A	B	C
	【課題】						
		(14) 離転職者訓練内容 離転職者訓練目標の実現のため、必要な技能及び知識を習得させるための離転職者訓練が、 地域・産業ニーズ を踏まえ設定されていること。	離転職者訓練計画 離転職者訓練が、 地域・産業ニーズ を踏まえ設定され、内容が適切で、随時改善されていること。	—	A	(B)	C
【課題】							
		離転職者訓練実施状況 学科・実技に係る内容が計画どおり実施されていること。	—	A	B	C	
【課題】							
	(15) 就職支援 公共職業安定所等との連携により、求職者への各種再就職支援活動が行われていること。	支援状況 公共職業安定所等との連携により、求職者への各種再就職支援が適切に行われていること。	—	A	B	C	
【課題】							

評 価 項 目				外 部 評 価		
大項目	中 項 目	小 項 目	指 標	A	B	C
3 離 転 職 者 訓 練	(15) " 公共職業安定所等との連携により、求職者への各種再就職支援活動が行われていること。	就職状況 公共職業安定所等との連携により、就職していること。	—	【課題】		

総 合 評 価 （ 離 転 職 者 訓 練 ）

外 部 評 価		
A : 評価できる	(B) : おおむね評価できるが一部改善を要する	C : 改善を要する
【内容】 「離転職者訓練目標」 ・ ニーズ導入 ニーズ導入にはキャリアコンサルティングの導入について検討する必要がある。 ・ 目標達成 受講者の訓練状況については、さらにきめ細かく把握し、資格取得および求職活動に対してもさらに積極的な対応が必要である。 「離転職者訓練内容」 ・ 訓練計画の作成にあたっては、地域・産業ニーズを考慮し、最新の技術を取り入れた内容について改善の必要がある。 ・ 変化の激しい社会状況に即応できるよう、内容についても随時見直しが図れるような柔軟性が必要である。		

総合評価（運営）

外部評価

A：評価できる (B): おおむね評価できるが一部改善を要する C：改善を要する

【内容】

組織・管理運営】

- ・ 現行の普通課程を実施する教務課、在職者訓練・離転職者訓練を実施する能力開発課の2課体制については地域の能力開発における拠点としての役割は果たしており評価できるが一方で下記の点についても今後さらなる検討と改善を要する。

地域における技術専門学校（浜校）のあり方について

- ・ 今後の産業構造の変化に対応した普通課程の科目のあり方、離転職者訓練の需要の増加、企業の技術革新に対するセミナー等の支援体制についてどうあるべきか、組織の見直しも含めて中長期的な展望が望まれる。

特に組織機能の充実すべきものとして、キャリアカウンセリングの充実強化を図ることや離転職者、一般就職希望者への能力開発支援を強化して雇用のミスマッチを解消することが重要となる。

そのため、能力開発課における地域に開かれた職業訓練や情報提供等の総合相談窓口機能を持たせるため組織機能の改善・充実を目指すことが必要である。

機能・役割分担について

- ・ 雇用・能力開発機構の職業能力開発促進センターは、在職者や離転職者を対象とした訓練を行い、一方本校においては新規高校卒業者を対象とした訓練と離転職者訓練及び在職者訓練を実施しているが、今後の社会経済動向の推移を見ながら、その役割分担の見直しも必要である。

指導体制について

- ・ 指導体制については、国（旧労働省）通達に準拠しながらきめ細かな指導ができるよう配慮すべきである。

浜校機能の高度化について

- ・ 中長期的な展望のうえに、地域・産業ニーズの動向を踏まえて浜校の機能について強化と高度化を図っていくべきである。